

## 第7回海技人材の確保のあり方に関する検討会（議事概要）

日 時：令和6年12月17日(火) 10:30～12:00

場 所：中央合同庁舎3号館10階共用会議室

出席委員：野川座長、河野座長代理、藏本委員、田口委員、田中委員、蔦井委員、土屋委員、  
富永委員、

野川忍委員を座長に、議事次第に沿って、事務局から資料の説明を行い、意見交換を行った。主な意見は以下のとおり。

### 【対応策の検討(案)】

- ・ 船員養成機関連携強化に向けた課題の整理と検討について賛同。機関同士でそれぞれの設置目的、教育内容等を尊重した上で協力関係を検討していくということが望ましい。
- ・ 有料職業紹介を事業化してしまうことの危険性は非常に大きいので、これについては引き続き反対。様々な取組をうまく実施すれば全く必要ないと考えている。
- ・ 学習指導要領での記載の充実は是非お願いをしたい。これの具体化、あるいはそのための検討の場の設置をお願いしたい。
- ・ 求人者等への通知制度について、制度が適切に浸透するまでは、地方運輸局で確認をすることや、派遣事業の監査で確認するなど、適切な通知等がなされているということの把握をお願いしたい。
- ・ 内航総連傘下の事業者に対し意見聴取をしたところ、有料職業紹介の解禁よりは、無料職業紹介の充実を進めるべきという意見があった。また、既存船員が陸上に目を向けるリスクもあるのではないかという意見や、船員確保対策の一步となるが、ハローワークと一本化のほうが望ましい、職業の多様化、選択の自由、認知度の向上等を理由に解禁することに対しては賛成というような意見もあった。
- ・ 副読本を作成するとか、体験会を実施するとか、もう少し複合的にいろいろ検討しなければならないことには賛同。
- ・ 総合的な学習や、総則、解説に入れるということではできないのではないかと思う。今の学習指導要領だと、社会課題に取り組むということが大変重要になっている。その社会課題として、海技人材が減っているということは言えるのではないか。

**【中間とりまとめ案】**

- ・雇用関係がある新3級と、雇用関係がない3級で、養成数についてはそれぞれ区分けをして養成をしていただきたい。
- ・内航の船員不足に関して、水産高校との連携強化、5級養成の拡大策の検討の2つの施策はかなり重要になってくるので、実現頂きたい。
- ・陸のハローワークで船員職業紹介ができないのかという事業者からの意見が相当ある。陸の職安を訪ねてきた求職者に、このような海の求人があるということを紹介できる仕組みを作って頂きたい。

以上